

平成 2 4 年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

野田村教育委員会

—目 次—

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
「野田の教育」における主な取り組みと点検評価・・・・・・・・	2
1 野田村学校教育行政の実施状況	
4月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	5
6月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	6
8月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	7
9月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	7
10月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	8
11月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	8
12月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	9
1月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	10
2月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	10
3月の事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	11
2 生涯学習文化事業の実施状況	
(1) 生涯学習社会の形成・・・・・・・・	14
① 生涯学習推進体制の充実・・・・・・・・	14
② 生涯学習の普及奨励・・・・・・・・	14
(2) 魅力ある生涯学習の推進・・・・・・・・	15
① 家庭教育の支援・・・・・・・・	15
② 生涯各時期における学習活動の支援・・・・・・・・	16
③ 生涯学習文化指導体制の充実・・・・・・・・	18
(3) 個性ある芸術文化の創造・・・・・・・・	20
① 芸術文化活動の振興と環境整備・・・・・・・・	20
② 文化財の保護・・・・・・・・	21
3 野田村生涯スポーツ行政の実施状況	
(1) 生涯スポーツ推進体制の整備・充実・・・・・・・・	23

①	各種会議の開催	23
②	各種会議等への参加	23
③	広報活動の充実	24
(2)	スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進	24
①	体育指導員研修・会議	24
(3)	スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	24
①	野田村民体育大会	24
②	各種スポーツ・レクリエーション大会	25
③	体育協会・スポーツ少年団の援助育成	28
(4)	社会体育の整備と活用促進	29

はじめに

野田村では、毎年度「野田の教育」を作成・刊行し、当該年度の方針と計画を定めています。

この報告書は、「野田の教育」で定めた計画等がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成24年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に定める点検・評価結果の報告書となるものです。

報告書の構成

この報告書は、次の2つの事項で構成しています。

- ① 「野田の教育」における主な取り組みと点検評価に関するもの
- ② 教育委員会の会議及び主な活動状況を取りまとめたもの

「野田の教育」における主な取り組みと点検評価		
項目	担当	評価
○ 野田村学校教育行政の方針と計画		
1 小中連携教育の推進	学 校 教 育 班	総合評価 ◎
(1) 学力向上対策の確立	学 校 教 育 班	◎
(2) 生徒指導の充実	学 校 教 育 班	◎
(3) 教職員の資質向上	学 校 教 育 班	○
(4) 国際理解関係事業の充実	学 校 教 育 班	◎
2 野田村小中学校連携教育推進会議	学 校 教 育 班	◎
3 野田村小中連携教育推進研修会	学 校 教 育 班	◎
4 野田村転入職員研修会	学 校 教 育 班	◎
5 野田村先進校等視察研修	学 校 教 育 班	◎
6 野田村小中高生徒指導連絡協議会	学 校 教 育 班	◎
7 野田村小中学校校長会議	学 校 教 育 班	◎
8 野田村就学指導委員会	学 校 教 育 班	◎
9 村内教育相談	学 校 教 育 班	○
○ 生涯学習文化事業の方針と計画		
1 生涯学習社会の形成	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ○
(1) 生涯学習推進体制の充実	生 涯 学 習 文 化 班	○
(2) 生涯学習の普及奨励	生 涯 学 習 文 化 班	○
2 魅力ある生涯学習の推進	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ○
(1) 家庭教育の支援	生 涯 学 習 文 化 班	○
(2) 生涯各時期における学習活動の支援	生 涯 学 習 文 化 班	◎
(3) 生涯学習文化指導体制の充実	生 涯 学 習 文 化 班	○
3 個性ある伝統文化の創造	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ◎
(1) 芸術文化活動の振興と環境整備	生 涯 学 習 文 化 班	◎
(2) 文化財の保護	生 涯 学 習 文 化 班	○
○ 野田村生涯学習スポーツ行政の方針と計画		
1 生涯スポーツ推進体制の整備・充実	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ○
(1) 各種会議の開催	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(2) 各種会議等への参加	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
(3) 広報活動の充実	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活動促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ○
(1) 体育指導委員研修・会議	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
(2) スポーツリーダー・ネームリスト	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ○
(1) 野田村民体育大会	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(2) 各種スポーツ・レクリエーション大会	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(3) 体育協会・スポーツ少年団の援助育成	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
4 社会体育施設の整備と活用促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ◎
※評価・・・◎：（達成） 優れた取り組みや状況等がみられ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。 ○：（概ね達成） 良い取り組みや状況等がみられ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。 △：（やや達成が困難） 課題は少なからずあり、目標達成がやや順調でない、又は、一定の成果があったが新たな課題が生じた。 ×：（達成が困難） 課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。		

1 野田村学校教育行政の実施状況

平成 24 年度 学校教育事業の成果と課題

○ 4 月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村転入職員 研修会 【総合センター】 (4月2日)	○委員長あいさつ 委員長職務代理者 道上 文明 ○辞令交付 ○サービスの宣誓 野田小学校 校長 小原 正弘 ○教育長激励のこたば ○職員の紹介 1 野田村立野田小学校 2 野田村立野田中学校 3 教育委員 4 教育委員会事務局職員 ○村長講話「野田村について」 ○村内巡り	○昨年度は震災の影響で辞令交付式としたが、今年度は研修会として実施できた。
野田村生徒指導 連絡協議会① 【総合センター】 (4月11日)	○平成24年度の事業計画の提案と確認 ○生徒指導年間指導計画の確認交流（小中高より） ○小中高における共通実践課題の設定について協議 「あいさつ運動」について取り組むことを確認 ※スローガン「あいさつで心のかよう村作り」 ○不応児児童生徒の実態と支援の方向性の確認 ○学校不応（不登校）指導状況連絡票について ○学校事故、問題行動が発生した場合の事務手続きについて ○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業について	○新年度の各校の生徒指導の取組について、確認することができた。
野田村小中連携 教育推進会議① 【総合センター】 (4月13日)	○委員委嘱並びに役員選出（委員長：菊池副校長） ○小中連携教育の推進について ①平成24年度野田村小中連携教育推進計画について ②小中連携教育研修会について ③小中共同実践・合同実践について ④小中連携にかかわる各校の取組について ⑤ALTの保育所、小学校の訪問予定日の確認 ○学力向上対策について ①平成23年度標準学力検査の結果考察と回復措置について ②平成24年度の各校の学力向上対策の具体的構想について ○各校の教務運営計画について ○各校の研究計画について ○その他	○新年度の連携教育の推進について共通理解を図ることができた。 ○新年度の学校運営にかかわる情報交換、事業内容の確認ができた。
野田村小中学校 校長会議① 【総合センター】 (4月24日)	○24年度事業計画についての確認（総務、学校教育、生涯学習文化、生涯スポーツ各班より） ○4月、5月の行事計画について報告及び確認 ○各校より、学校運営方針についての説明 ○その他	○新年度の学校経営について協議が深められた。

○5月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
中1連絡会 【野田中学校】 (5月2日)	○小学校3名, 中学校7名, 佐々木悠紀カウンセラー参加 1 授業参観 保健体育「体づくり」 外島 明子 先生・新毛 直人 先生 2 情報交換会 (1)あいさつ ・教育長(天間 代読) ・中学校長 (2) 新中1担任から (3) 旧小6担任から (4) 意見交流	○中1ギャップ、解消に向けて、小中の連携を図ることができた。 ○入学後1ヶ月の生徒達の様子を参観し、生徒の様子について情報交換を行った。特に特別な支援の必要な生徒の指導・支援の情報交換は大変有意義であった。
初任者研修(一般研修) 【総合センター・のだ窯ギャラリーIZUMITA】 (5月16日)	1 講話1 「新任教員に期待すること」 講師 教育長 大崎 英雄 2 講話2 「野田村における教育課題」 講師 主任指導主事 天間 保 幸 3 体験活動 陶芸体験(野田焼)	●教育長の体験談とCRT、県学調アンケート等を資料に課題について講話を行った。運動会直前の実施は要検討。
野田村小中学校 校長会議② 【総合センター】 (5月25日)	1 5月の事業報告(事務局) 2 6月の事業計画について(事務局) 3 学校経営状況報告について(小・中) 4 6月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他	○各校の運営状況の共有が図られた。
第1回野田村小中 連携教育研修会 (5月29日)	1 全体会 ① あいさつ 野田村教育委員会 教育長 野田小学校長 ② 職員紹介 野田小学校・野田中学校 ③ 説明 平成24年度野田村小中連携教育推進計画について 2 講話1「復興教育について」 講 師 岩手県教育委員会事務局学校教育室 復興教育担当者 主任指導主事 齊藤 義宏 様 主任指導主事 柏木 廣喜 様 3 講話2 「こころのサポートについて」 講 師 県北教育事務所 巡回型カウンセラー 佐々木 悠紀 様 4 部会研究会 【第1部会】学習習慣の確立及び学習指導の在り方等について検討する部会 【第2部会】小中合同実践に係る行事や活動、生徒指導、復興教育等について検討する部会	○新年度の研究推進体制を全体で確認するとともに、組織の確立、研究主題や計画について周知が図られた。 ○講演会は、本村の第一の教育課題である児童生徒の心のケア及び「いわての復興教育」について学ぶ機会とし、教員の理解を深められた。

○6月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中学校 校長会議③ 【総合センター】 (6月27日)	○6月の事業報告及び7月の事業計画 ○学校経営状況報告 他	○各校の運営状況の 共有が図られた。

○7月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中連携 教育研修会② 【野田小学校】 (7月3日)	○授業参観 2A 社会 授業者 西田牧恵 先生 3A 道徳 授業者 柏木 暁 先生 ○交流会 ○部会研究会 (第1部会：相談室、第2部会：図書室)	○部会研究会では現 状を確認し合うと ともに今年度の取 組について確認で きた。 ○復興教育の在り 方、こころのケア について、小中学 校で共通理解を図 るとともに、今後 の取組の方向性を 確認できた。
野田村初任者研 修(授業研修) 【久慈小・中】 (7月5日)	○授業参観① 授業者 久慈市立久慈小学校 教諭 小菅 晴香 国語 単元名[物語を読んで紹介しよう](教材名「一つの花」) ○授業参観② 授業者 久慈市立久慈中学校 教諭 工藤 聖士 保健体育 単元名「陸上競技」短距離走・リレー ○授業研究会 ○帰りの会参観 久慈中学校3年B組	○新採用1名という ことから久慈市と 合同で行うことで 充実した内容の研 修とすることがで きた。 ○同期2名の授業及 び授業研究会を通 して、授業の進め 方や生徒指導等 について、多くの事 を学んでいた。
野田村生徒指導 連絡協議会 【野田小学校】 (7月9日)	○授業参観(クラブ活動を参観) ○1学期の積極的生徒指導の実践事例について ○小中高共通実践(あいさつ運動)取組状況について ○学校不適応児童生徒への具体的対応について ○夏季休業中の生徒指導について ○その他 野田村内及び久慈管内における事件・事故等の状況(駐在所長)	○各校の生徒指導の 状況について情報 交換をすること で、生徒指導の面 において連携が深 められた。

野田村小中連携 教育推進会議② 【総合センター】 (7月17日)	○1学期の学力向上に向けた取組について(小・中学校) ○各校の校内研究会の進捗状況について(小・中学校) ○小中連携教育研修会について ①第1回、第2回の報告及び反省(事務局) ②各部会の協議内容と今後の予定について(各担当委員) ③第4回の実施要項(案)について ○H24年度 標準学力検査(CRT)の実施計画について	○学力向上の取組を中心に、家庭学習の工夫などの情報交換をもとに連携教育の一層の推進に役立った。
野田村小中学校 校長会議④ 【総合センター】 (7月24日)	○7月の事業反省について(事務局) ○8・9月の事業計画について ○学校経営状況報告について(小・中各校長) ・学校運営状況について ・教職員の状況について ・児童生徒の状況について ○8・9月の学校経営の重点について ○その他	○各校の運営状況の共有が図られた。

○8月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村初任者研修 (課題研修) 【久慈市役所】 (8月8日)	○課題研修の説明 久慈市教育委員会 指導主事 菅野 弘 ○課題研修 演習①及び② 「研究主題、研究仮説、研究内容等について」 久慈市教育委員会 指導主事 今西 顕隆 久慈市教育委員会 指導主事 村田 賢 久慈市教育委員会 指導主事 菅野 弘 野田村教育委員会 主任指導主事 天間 保幸	○久慈市と合同で行うことで、初任者同士での情報交換などができ、充実した内容の研修とする事ができた。
野田村就学指導 委員会① 【総合センター】 (8月20日)	○教育長あいさつ ○委員長あいさつ ○協議 ・平成24年度事業計画について ・検査を必要とする児童生徒について (小学校3名) ・情報交換 小学校6名、中学校4名	○今年度の事業計画を確認し、児童生徒の状況の共通理解ができた。

○9月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中学校 校長会議⑤ 【総合センター】 (9月25日)	○8・9月の事業反省について(事務局) ○10月の事業計画について ○8・9月の学校経営状況報告について(小・中各校長) ・学校運営状況について ・教職員の状況について ・児童生徒の状況について ○10月の学校経営の重点について ○その他	○各校の運営状況の共有が図られた。

○10月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中学校 校長会議⑥ 【総合センター】 (10月24日)	○10月の事業反省について(事務局) ○11月の事業計画について ○10月の学校経営状況報告について(小・中各校長) ・学校運営状況について ・教職員の状況について ・児童生徒の状況について ○11月の学校経営の重点について ○その他	○各校の運営状況の共有が図られた。 ○学習発表会等の成果が報告された。

○11月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中学校連 携教育研修会③ 【野田小学校】 (11月7日)	○授業参観 6年 道徳 「あこがれのパティシエ～好きな道を歩む～」 - 授業者 嵯峨 文裕 先生 1年 国語 「ことばであそぼう」 - 授業者 正木かおり 先生 ○全体会 あいさつ 教育長 大崎 英雄 小学校 校長 小原 正弘 ○交流会(道徳・国語) ○部会研修会 - 第1部会【学習指導】 - 第2部会【合同・共通実践、生徒指導】	○小学校における学習指導の具体について学ぶ機会となった。 ○小中連携の授業について、協議が深まった。 ○部会研究会では、次年度の取組について協議を深めた。
野田村就学指導 委員会② 【総合センター】 (11月9日)	1 教育措置の判定について 2 就学時健康診断の結果について 3 その他	○対象児童生徒の指導の状況について、協議が深められた。
野田村小中学校 校長会議⑦ 【総合センター】 (11月27日)	○11月の事業反省について(事務局) ○12月の事業計画について ○11月の学校経営状況報告について(小・中各校長) ・学校運営状況について ・教職員の状況について ・児童生徒の状況について ○12月の学校経営の重点について ○その他	○生徒指導の問題について共通理解を図ることができた。

〇 1 2 月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中連携 教育推進会議③ 【総合センター】 (12月5日)	○協議内容 (1) 2学期の各校の学力向上に向けた取り組みについて (2) 各校の研究推進の状況について (3) 第3回小中連携教育研修会について ①第3回の報告及び反省(事務局) ②各部会の協議内容の報告と今後の予定(各担当) (4) 標準学力検査(CRT)の結果処理について (5) 「野田の教育を考える」(第23集)の編集計画について ①平成24年度岩手県学習定着度状況調査の結果について	○各学校の2学期の取組について、交流することができた。また、今後の計画について確認できた。 ○次年度の取組内容について意見をいただき、H25年度計画づくりの参考となった。
食育出前教室 (しいたけ給食) 【野田小学校】 (12月7日)	(1) 校長先生あいさつ(小原 正弘 野田小学校長) (2) しいたけの話 県北広域振興局林務部 主査林業普及指導員 佐々木 光治 様 ○生産者 米田 栄行 様 (3) しいたけ給食試食	○食を通して、地域に対する理解が深められた。
野田村生徒指導 連絡協議会③ 【野田小学校】 (12月12日)	○授業参観(全学級) ○協議 ・2学期の積極的生徒指導の実践事例について ・小・中・高等学校における共通実践課題(あいさつ)の取組状況について ・小・中学校不適応児童生徒の実態と支援の経過について ・冬季休業中の生徒指導について	○2学期の取組について交流することができた。
第3回野田村就 学指導委員会 【総合センター】 (12月12日)	○教育長・委員長あいさつ ○協議 ・教育措置の判定について ・教育相談の結果について ○その他	○対象児童生徒の指導の状況について、協議が深められた。
野田村小中学校 校長会議⑧ 【総合センター】 (12月21日)	○協議内容 ・12月の事業報告及び反省について(事務局) ・1・2月の事業計画について(事務局) ・12月の学校経営状況報告について(小・中各校長) 運営状況について 教職員の状況について 児童生徒の状況について ・1・2月の学校経営の重点について(小・中各校長) ・その他	○各校の運営状況の共有が図られた。

○1月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
食育出前教室 「ほうれん草給食 (4年)」 【野田小学校】 (1月25日)	1 あいさつ(野田小学校長) 2 ほうれん草の話 ○久慈農業改良普及センター 産地育成チーム 普及課長 高橋 好範 様 ○生産者 辻鼻 久 様 3 献立紹介 給食センター学校栄養職員 福士久美子 4 ほうれん草給食試食	○食を通して、地域に 対する理解が深め られた。

○2月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村キャリア 教育推研修会 【アイーナいわ て県民情報交流 センター】 (2月4日)	1 講演 「いわて復興教育におけるキャリア教育の可能性」 講師：山森光陽先生(国立教育政策研究所) 2 事例発表「復興教育×キャリア教育」実践事例 ①宮古市立小国小学校(日本アイ・ビー・エム) ②宮古市立宮古西中学校(青年海外協力協会) ③二戸地域雇用開発協会(NPO 法人キーパーソン 21) 3 参加団体の活動概要説明 ○参加者 高橋浩司先生(野田小) 野沢智文先生(野田中)	○講演会や他校の実 践発表を聞くこと ができ、キャリア教 育について、視野を 広げるとともに、今 後のキャリア教育 推進の参考とする ことができた。
食育出前教室 「ワカメ給食 (2年)」 【野田小学校】 (2月8日)	1 あいさつ(野田小学校長) 2 わかめの話 ○県北広域振興局水産部 水産振興課漁政グループ 主査 小野寺 光文 様 ○生産者 小谷地 勝 様 3 献立紹介 給食センター学校栄養職員 福士 久美子 4 わかめ給食試食	○食を通して、地域 に対する理解が深 められた。
野田村小中連携 教育推進会議④ 【総合センター】 (2月22日)	1 あいさつ(教育長) 2 協議 (1)平成24年度野田村小中連携教育事業反省について (2)各校の教育課程実施の重点に関わる成果と課題について (3)各校の校内研究の成果と課題及び来年度構想について (4)平成24年度標準学力検査の結果考察と回復措置及び次 年度の課題について (5)平成25年度野田村小中連携教育推進計画について (6)平成25年度教育課程編成上の留意点について	○今年度の成果と課 題を踏まえ、次年 度の計画を見直 し、事業等の整理 を進めることがで きた。

野田村小中学校 校長会議⑨ 【総合センター】 (2月23日)	1 協議内容 (1) 1・2月の事業報告及び反省について(事務局) (2) 3月の事業計画について(事務局) (3) 1・2月の学校経営状況報告について(小・中各校長) ・運営状況について ・教職員の状況について ・児童生徒の状況について 2 1・2月の学校経営の重点について(小・中各校長) 3 その他	○各校の運営状況の共有が図られた。
---	--	-------------------

○3月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生徒指導 連絡協議会④ 【総合センター】 (3月4日)	1 各校における生徒指導年間反省について (各校における生徒指導の現状と課題、共通実践課題に係る成果と課題、積極的な生徒指導に係る反省等) 2 小・中学校不適応児童生徒の実態と支援の経過について 3 年度末・年度始休業中の生徒指導について	○小・中・高の担当者が集まり、それぞれの学校の生徒指導に関する情報交換、協議をすることにより、生徒指導の連携を強められた。 ○毎回、野田駐在所長にも参加していただき、管内の状況について情報を得られ、各校の生徒指導に役立てることができた。
野田村先進校等 視察研修 (3月4, 5日)	1 研修視察先 神戸市立本庄小学校 神戸市立本庄中学校 神戸市立総合教育センター 2 研修対象者 野田小学校 副校長 坂川 良子 野田中学校 副校長 柏舘 秀一 3 研修内容 ・震災当時の学校と避難所の様子とその運営 ・現在の避難所機能をもった学校における必要物品の整備状況とその在り方 ・教職員の対応の仕方、共通理解のための方策	○避難所としての学校の防災設備や地域と連携した防災訓練、防災研修の実施等、行政・学校・地域が一体となった防災教育を視察でき、次年度の防災教育に見通しをもつことができた。

野田村小中学校 校長会議⑩ 【総合センター】 (3月26日)	○協議内容 1 3月の事業反省について (事務局) 2 4月の事業計画について (事務局) 3 3月及び平成23年度の学校経営状況報告について (各校長) ・運営状況について ・教職員の状況について ・児童生徒の状況について 4 4月の学校経営の重点について (小・中各校長) 5 平成25年度の事業計画について (事務局) 6 平成25年度の年間行事予定について	○計画に基づき、見通しに立った学校経営が図られた。
---	---	----------------------------------

2 生涯学習文化事業の実施状況

平成 24 年度 生涯学習事業の成果と課題

1 生涯学習社会の形成

(1) 生涯学習推進体制の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生涯学習推進本部	(1) 幹事会議 期日：4月23日 場所：総合センター児童室 (2) 本部会議 期日：5月2日 場所：第1会議室	○生涯学習カレンダーは、久慈工業高校の行事予定も加えて、1年分で作成し、村民に周知を図った。

(2) 生涯学習の普及奨励

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生涯学習大会	期日：2月23日(土) 場所：総合センター 内容： (1) 各種表彰(受賞者96個人・団体、出席者55個人・団体)小野寺賞、読書感想文等コンクール、教育振興会表彰、花いっぱいコンクール (2) 実践発表(3個人・団体) ①野田村の元気発信パンフレットを作ろう(小) ②読書感想文(小・中) ③野田村都市公園計画(中) (3) 講演 演題：「野田の宝物」 講師：社会福祉法人スプラウトユニティー 理事長 米田 和枝 氏 来場者：170人(講演90人)	○全体を通してスムーズに大会を進行することが出来た。 ○実践発表及び講演とも来場者より大好評であった。
生涯学習情報の提供	(1) 広報のだ「生涯学習コーナー」の発行 期日：毎月 (2) 生涯学習文化だより、村のカレンダー、のんちゃんネット、村ホームページによる提供 期日：随時	○事業の成果や参加者の募集などに各媒体を積極的に活用し情報提供に努めた。

2 魅力ある生涯学習の推進

(1) 家庭教育の支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村教育振興会	(1) 総会 期 日：7月4日 場 所：総合センター大会議室 出席者：32人（委任状含）	○地区活動の支援策など様々な質問が出され活発な協議が交わされた。
	(2) 教育振興会表彰…38個人・団体 審査会：2月13日 審査員：5人 ① 学芸表彰：12個人団体(小3、中9、高0) ② 善行表彰：1団体(野田中学校) ③ 健康スポーツ表彰：25個人団体(小3、中3、高16、スポ少3)	○表彰規定等に基づき推薦のあった候補者について審査を実施し、すべて被表彰者に決定した。 ○生涯学習大会において表彰を行った。
	(3) 子供会育成会の活動支援	
野田村校外指導連絡会	(1) 総会 期 日：7月4日 場 所：総合センター大会議室 出席者：26人	○前年度事業報告など、本年度事業計画について協議を行った。
	(2) 事業 ◆「小中高生の夏・冬休みの生活」の配布 ◆野田まつり期間中の夜間巡回指導 …教員、中P、教委 34人	○夏・冬休み生活の決め事について、村民への周知をはかった。 ○問題行動等の未然防止をはかることができた。

(2) 生涯各時期における学習活動の支援

ア 青少年の学習活動支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
青少年体験学習活動 (悠 YOU チャレンジクラブ)	(1) 夏子どもスクール 期 日：8月2日(木)～3日(金) 場 所：森と風のがっこう(葛巻町) 内 容：野菜の収穫、畑の草取り、川遊び、ピザ作り、森でひとあそび、サッカー 等 参加者：12人	○森の探検に行き、川で泳いだりして普段の生活では体験できない貴重な自然体験ができた。
	(2) マイ凧を作ろう 期 日：1月8日(火) 場 所：総合センター 参加者：14人 内 容：ちょんなの会に依頼し、オリジナルの凧を作成及び小正月行事での凧揚げ	○参加者それぞれが個性ある凧を製作することができた。 ○小正月行事では、自分で作った凧をあげて楽しんでた。また教室参加者以外の子ども達にも凧を貸し出し、多くの子ども達に楽しんでもらうことができた。
野田キッズセンター	開設回数：68回(5月17日～3月7日) 参加延べ人数：753人 講師延べ人数：220人(実数40人) 内 容：料理、お茶、お話、踊り、絵手紙、工作、グラウンドゴルフ、大正琴、普代村との交流会など	○地元のボランティア講師が戻って来て下さり、例年通りの活動をする事が出来た。 ○講師の方々に感謝の気持ちをもって、全員で楽しんで取り組んでいた。
岩手希望塾(県事業)	期 日：10月8日～10日 場 所：国立岩手山青少年交流の家 参加者：小野寺 葉月(野田中2年) 内 容：復興に係る講演や、参加団員との交流	○体験活動を通じて交流を深めることができた。

イ 成人の学習活動支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
いきいきライフ	(1) ヨガ教室 期 日：5月21日～7月30日(全10回) 場 所：総合センター 参加者：延べ183人(申し込み者数30名) 内 容：簡単なストレッチを踏まえながらのヨガ 講 師：ヨガインストラクター 佐藤 忍 氏(久慈市)	○全員がケガもなく落ち着いた雰囲気に取り組めていた。 ○体調に変化があり、ヨガの効果が見られた。
	(2) ヨガ教室 期 日：9月14日～12月7日(全5回) 場 所：総合センター、学習センター 参加者：延べ72人(申し込み者数19人) 内 容：自宅でもできる簡単なヨガと大槻先生による一人芝居や読み聞かせの披露 講 師：大槻 由生子 氏(盛岡市)	○講師のファンの方やヨガに興味のある方が参加し、毎回和やかな雰囲気に取り組む事ができた。
	(3) おいらせ溪流ハイキング 期 日：11月14日 場 所：青森県十和田市 参加者：17人 内 容：奥入瀬溪流をウォーキング、観光、温泉 ガイド：NPO法人プロ・ワークス十和田 ※被災地支援として実施して頂いた。	○紅葉の時期は少し過ぎていたが、大自然に囲まれながら伸び伸びと歩く事が出来ていた。 ○村民同士のコミュニケーションを深める事ができた。
	(4) セラピー講座 期 日：4月16日～3月18日(全8回) 場 所：総合センター、学習センター 参加者：99人 内 容：ペンダント作り、絵手紙、アロマについての勉強、ボディケア、料理など 講 師：セラピー&スクール アイアム ※被災地支援事業として実施して頂いた。	○様々な活動に対して、趣味や興味を持っている村民がおり、継続して参加してくれた方もいた。 ○毎回楽しい雰囲気で行われ、講師の方々とも交流を深める事ができていた。

第 61 回野田村成人式	期 日：1 月 13 日（日） 場 所：総合センター 参加者：174 人（うち新成人 50 人） 内 容：式典・記念講話、記念撮影 ※講話 演題 「恩師講話」 講 師：野田小学校卒業時 6 年 2 組担任 島川 宜子 先生 野田中学校卒業時学年主任 梅澤 寿子 先生 野田中学校卒業時 3 年 A 組担任 後藤 匡道 先生 野田中学校卒業時 3 年 B 組担任 志賀 圭子 先生 ※打ち合わせ会の開催：8 月 13 日 ※実行委員会の開催：11 月 20 日	○新成人には準備段階から積極的に動いてもらい、スムーズに進行することができた。 ○村からの記念品をのだ焼のマグカップにして、当日新成人にそれぞれ絵付けをしてもらい、心に残る成人の記念品になった。
--------------	---	--

(2) 生涯学習文化指導体制の充実

ア 指導体制の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
社会教育委員会議	期 日：3 月 22 日（金） 場 所 総合センター児童室	

イ 生涯学習文化施設の運営等

事業名	実施状況				成果(○)と課題(●)				
生涯学習センター運営事業	○利用状況								
	24年度の利用状況は425件、8,458人で、震災前の22年度と比較し、件数は40件の減となっているが、利用者数は1,811人の増となっている。また、利用件数425のうち、95.8%が使用料免除での利用である。								
	(※但し、22年度は震災の影響により2月末現在の利用状況)								
		多目的ホール		研修作法室		談話室		合 計	
		件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
	24年度	261	6,348	82	1,267	82	843	425	8,458
22年度	257	4,521	112	1,483	96	643	465	6,647	
増減	4	1,827	▲30	▲216	▲14	200	▲40	1,811	

図書館運営事業	開館日数：303 日 来館者数：7,565 人(22 年度 9,506 人 ▲1,941 人) 貸出冊数：5,803 冊(22 年度 6,209 冊 ▲406 冊)	
	◆図書資料の収集 新規購入冊数：551 冊(購入金額 998 千円)	○計画的な購入に努めた。
	◆図書館資料コピーサービス(有料) 利用件数：0 件	
	◆ブックスタート相談会 開催回数：1 回(5 月 11 日)	○住民福祉課との連携強化により、一定の成果を上げることができた。 ○9 月秋に予定していたポリオ予防接種が中止になったことにより、2 回目のブックスタート相談会も中止とした。
	◆県立図書館団体借入 0 件	
	◆読書感想文等コンクール ※募集期間中 募集期間：9 月 3 日～1 月 25 日 感想文、標語、感想画 応募点数：感想文 57 点(小 26 点、中 29 点、高 2 点) 標 語 29 点(中) 感想画 44 点(小 30 点、中 14 点) 計 130 点	・感想文(5 区分) 入賞 22 点 ・標 語(1 区分) 入賞 6 点 ・感想画(4 区分) 入賞 24 点
アジア民族造形館運営事業	開館期間：平成 24 年 4 月～12 月 30 日 来館者数：829 人(451 人、378 人 83.8%増) 入館料：159,200 円(54,000 円、105,200 円増 194.8%増)	○4 月当初からの開館と震災からの時間経過により、震災前には及ばないが、前年を上回る入場者数、料金収入となった。
部落公民館維持管理補助事業	◆957 千円の補助 (22 館分) ◆改修費補助は 0 円	南浜、下安家の仮設集会所の設置により 2 館増

3 個性ある伝統文化の創造

(1) 芸術文化活動の振興と環境整備

ア 芸術文化団体への支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村芸術文化協会支援事業	野田村芸術文化協会への助成額 800 千円 うち、加盟団体に対する助成額 430 千円 (17 団体中 12 団体に交付)	○加盟団体の自主的な 芸術文化活動に対し て助成を行った。

イ 芸術文化に対する意識の高揚

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第 48 回野田村総合文化祭	公演部門 期 日：10 月 28 日 場 所：村体育館 出 演：14 団体 14 演目 来場者：379 人	○震災後初めて体育館で の文化祭となった。震 災前と同じように積極 的な参加が見られた。 また、野田村出身で現 在は青森で住職をして いる方が、団体を紹介 してくれた。会場が一 体となり盛り上がるこ とができた。
	展示部門 期 日：11 月 2 日～11 月 3 日 場 所：村体育館ほか 出展者数：33 個人・団体 出展総数：1,157 点 来場者数：1,026 人	○出展総数は減少した が、新規で作品を出展 する方が多かった。
優れた舞台芸術鑑賞事業	◆野田村芸術鑑賞会 『二代目 高橋竹山 津軽三味線コンサート ～響け三陸へ～ 』 (村芸術文化協会主催) 期 日：10 月 24 日 場 所：村体育館 来場者数：約 450 人 内 容：津軽三味線コンサート	○感動した、すごかったと の感想が多く、迫力ある 演奏を身近で鑑賞でき る良い機会となった。 ○来場者、演奏者が一体 となって楽しみ、会場 を盛り上げることがで きた。

(2) 文化財の保護

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
指定文化財等の保存・保護	(1)埋蔵文化財包蔵地等の保護・管理 開発事業に係る埋蔵文化財包蔵地の確認照会…23件 ① 一般住宅建設事業（8件） ② 城内地区、米田・南浜地区高台移転事業 ③ 村道城内二又線改良事業 ④ 城内地区土地区画整理事業、下安家地区土地嵩上げ事業 ⑤ その他公共事業8件、民間開発事業1件、民間土木工事1件に対応方法を回答した。	○①はいずれも試掘調査を実施、内7件本調査 ○②は本発掘調査を実施 ○③は工事立会・本調査を実施 ○④は影響なしを回答
民族資料の保存管理	資料室の一般開放 小学生の見学はあったが、一般公開は未実施である。	●収蔵物の点検・精査等が課題である。

3 野田村生涯スポーツ行政の実施状況

平成 24 年度野田村生涯スポーツ行政の成果と課題

1 生涯スポーツ推進体制の整備、充実

(1) 各種会議の開催

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
スポーツ推進委員会議	期日：6月5日(火) 9月20日(木) 3月21日(木) 場所：総合センター 対象：スポーツ推進委員 6名 内容：スポーツ推進委員活動計画について H24 生涯スポーツ行政の方針と重点施作 の説明	○平成 24 年度生涯スポーツ事業の周知と協力依頼することができた。 ○生涯スポーツ事業に対する貴重な意見をいただいた。
村民体育大会運営委員会議	期日：8月31日(金) 12月18日(火) 場所：総合センター 参加：8/31：10名、12/18：9名 内容：村民大運動会について 村民体育大会の反省及び計画について	

(2) 各種会議等への参加

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
管内社会体育担当者的会議	期日：4月24日(火) 2月28日(木) 場所：二戸合庁 対象：管内市町村社会体育担当者 内容：管内市町村生涯スポーツ事業 教育事務所の管内事業の説明	○生涯スポーツ行政について情報交換の場となった。
平成 24 年度市町村生涯スポーツ担当者研修会	期日：4月27日(金) 場所：盛岡市 対象：担当 1 名 内容：県生涯スポーツ事業の概要等	
久慈地方スポーツ推進委員協議会総会	期日：5月25日(金) 場所：久慈合庁 対象：スポ進 2 名、担当 1 名 内容：平成 24 年度総会	
管内スポーツ推進委員及び社体担当者合同視察研修	期日：8月24日(金)～25日(土) 場所：宮城県仙台市 対象：スポ進 1 名、担当 1 名 内容：東北地区スポーツ推進委員研修会	

(3) 広報活動の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
「生涯スポーツだより」 「スポーツ掲示板」の発行	期日：随時 対象：全戸配布	○事業等に合わせ、発行することができた。
広報・村のカレンダー掲載 依頼	内容：スポーツ少年団加入のお知らせ 各大会開催等のお知らせ 各スポーツ教室のお知らせ等	

2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進

(1) 体育指導委員研修・会議

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
岩手県スポーツ推進委員 協議会市町村代表幹事会	期日：5月11日(金) 場所：盛岡市 対象：スポーツ推進委員1名 内容：平成24年度総会	○県及び管内スポーツ 推進委員の情報交換 の場となり、交流親 睦が図られた。 ●各種研修会や会議等 に参加できない。
久慈地方スポーツ推進委員 協議会総会	期日：5月25日(金) 場所：久慈合庁 対象：スポーツ推進委員2名 内容：平成24年度総会	
管内スポーツ推進委員及び 社体担当者合同視察研修	期日：8月24日(金)～25日(土) 場所：宮城県仙台市 対象：スポーツ推進委員1名 内容：東北地区スポーツ推進委員研修会	
自主事業 パークゴルフ大会	期日：11月11日(日) 場所：アジアの広場パークゴルフ場 対象：小学生以上 40名 内容：大会運営	○村民体、パークゴルフ 協会等と共催で開催 することができた。

3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

(1) 野田村民体育大会

事業名	主旨・主な内容	成果(○)と課題(●)
野田村民体育大会の開催	「第8回どこでもテニポン大会」 期日：3月27日(火), 29日(木) 場所：村体育館 参加：12チーム	○各協会等の協力を得 てスムーズな運営が 図られた。 ○内容を見直ししなが ら開催した。(運動会 の競技時間など)
	「第5回8地区ソフトバレーボール大会」 期日：6月12日(火), 14(木) 場所：村体育館 参加：8チーム	

野田村民体育大会の開催	「第 26 回壮年ソフトボール大会」 期日：7 月 22 日(日) 場所：山村広場 参加：8 チーム	○震災前の地区で開催することにより更なる絆が深まり交流が図られ、併せて健康増進につながった。 ●今まで参加できなかった人も参加できる球技以外の競技の検討を要する。
	「第 58 回野田村民大運動会」 期日：9 月 30 日(日) 場所：山村広場 参加：550 名	
	「第 23 回 8 地区対抗野球大会」 期日：10 月 16 日(火)～26 日(金) 場所：野球場 ※全てナイター 参加：8 チーム	
	「第 11 回世代間交流グランドゴルフ (パークゴルフ) 大会」 期日：11 月 11 日(日) 場所：アジアの広場 参加：5 チーム(約 40 名)	

(2) 各種スポーツ・レクリエーション大会

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
悠 YOU スポーツクラブ事業	「小学生水泳教室」 期日：8 月 6 日(月), 8 日(水), 10 日(金) 場所：村民プール 参加：延べ 27 名	○各種スポーツ教室の開催により技術の普及向上や交流が図られた。
	「マレットゴルフ教室」 期日：10 月 17 日(水), 24 日(水) 場所：宇部マレットカントリー 参加：延べ 20 名	
	「グラウンドゴルフ教室」 期日：10 月 15 日(月), 22 日(月) 場所：山村広場, ライジング・サン・スタジアム外周 参加：延べ 19 名	●生活習慣病予防や健康志向、子供の体力低下の問題などを考慮し、年代や需要に合わせた種目を検討していく。 ●被災地支援事業等の関係で参加者が少なかった。
	「スケート教室・フォトフレーム作り」 期日：1 月 17 日(木)～18 日(金) 場所：県北青少年の家(二戸市) 参加：中止	
	「スキー・スノーボード教室」 期日：3 月 23 日(土) 場所：八幡平リゾートスキー場 参加：5 名	

地域コミュニティ再生支援事業	「e-スポ広場—ニュースポーツ交流会」 期日：毎週木曜日（4月～3月） 場所：野田村体育館 参加：各回10名程度（延べ435名）	○村民同士が体を動かしながら、交流を図ることができた。
	「e-スポ広場—夜間スポーツ交流会」 期日：第2、第4金曜日（6月～3月） 場所：野田村体育館 参加：各15名程度（延べ211名）	○高齢者の定期的な運動の場となり、体力低下の抑制につながった。
	「パークゴルフ交流会」 期日：月2回（7月～11月） 場所：アジアの広場ミニパークゴルフ場 参加：各回15名程度（延べ130名）	●参加者が固定化された。
	「普代村グラウンドゴルフ交流大会」 期日：2月17日（日） 場所：普代村B&G海洋センター 参加：13名	
その他大会	「第23回村長杯争奪ゲートボール大会」 期日：5月20日（土） 場所：工業高校下ゲートボール場 参加：7チーム（44名）	○恒例の大会で楽しんでプレーしていた。
	「第2回教育長杯中学生ソフトテニス大会」 期日：7月7日（土） 場所：総合運動公園テニスコート 参加：110名	○ゲートボール協会より大会運営の協力を得た。
	「第12回鶴鶴杯高校生ソフトテニス大会」 期日：8月4日（土） 場所：総合運動公園テニスコート 工業高校テニスコート 参加：120名	
	「第22回野田村ナイター野球大会」 期日：8月7日（火）～10月31日（水） 場所：ライジングサンスタジアム・山村広場 参加：7チーム	
	「平成24年度野田村部落対抗野球大会」 期日：8月14日（火）～15日（水） 場所：ライジングサンスタジアム・山村広場 参加：10チーム	

その他大会	「第 1 回村長杯中学校ソフトテニス大会」 期日：10 月 13 日（土） 場所：総合運動公園テニスコート 工業高校テニスコート 参加：190 名	○新たに創設しテニス競技の活性化や競技技術の向上が図られる。
	「第 12 回村長旗クラブ野球選手権大会」 期日：10 月 14 日（日） 場所：ライジングサンスタジアム 参加：5 チーム	
	「第 17 回村長杯中学校バレーボール大会」 期日：3 月 2 日（土） 場所：村体育館 参加：管内中学校 10 校	○管内競技力の向上に寄与している。 ○バレー協会より審判の協力を得た。
招待事業	「みちのくプロレスチャリティーマッチ」 期日：5 月 1 日（火） 場所：野田村体育館 参加：350 名	○参加者は、招待事業を通して有意義な時間を過ごすことができた。
	「ジュビロ磐田サッカー試合観戦招待」 期日：8 月 17 日（金）～19 日（日） 場所：静岡県磐田市 参加：児童 8 名 大人 4 名	
	「北海道テニポン選手権大会」 期日：9 月 23 日（日） 場所：北海道様似町 参加：10 名	
	「被災地支援 いわて大運動会～スキー教室～」 期日：2 月 2 日（土）～3 日（日） 場所：安比高原スキー場 参加：40 名	

(3) 体育協会・スポーツ少年団の援助育成

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
体育協会の援助育成	・運営活動費補助 9団体 882千円 ・社会人野球岩手県大会運営補助 9月15日(土)～17日(月) 18チーム 230千円 ・第16回北リアスバレーボール大会開催補助 11月18日(日) 94チーム 214千円	○団体活動の援助育成が図られた。
スポーツ少年団の援助育成	・運営活動費補助 6団体 270千円 ・第31回教育長杯争奪少年野球大会 9月22日(土) 4チーム(野田, 久喜, 宇部, 普代) ・久慈地区スポーツ少年団交流大会(野球) 10月13日(土) ・第23回久慈地区少年ふれあい柔道剣道大会 10月13日(土) ・野田村スポーツ少年団本部長杯野球新人大会 11月3日(土)～4日(日) 5チーム ・久慈地区スポーツ少年団交流大会(綱引き) 12月22日(土) ・スポーツ少年団体力テスト 1月19日(土) 3団体 41名 ・世代間軟式野球交流戦(小学生 vs 野球OB) 7月～10月 月2回	○大会や体力テストにより少年団員の運動能力の情報を指導者と共有することができた。 ●体育協会・スポーツ少年団とも教育委員会で事務を行っており自主的運営に向けて組織の強化が望まれる。

4 社会体育施設の整備と活用促進

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
総合運動公園の効率的活用	(大会招致) ・高円宮賜杯第32回全日本学童軟式野球大会マクトナルド・トナメント兼第34回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会九戸郡予選 5月5日(土)～6日(日) 8チーム ・三陸学童軟式野球大会九戸郡予選 7月7日(土)～8日(日) 8チーム ・南北大学野球連盟交流戦 8月10日(金)～12日(日) 11チーム ・第49回 JABA 毎日旗争奪秋季野球大会兼第19回 JABA 東北地区連盟会長旗争奪岩手県予選大会 9月15日(金)～17(月) 18チーム (総合運動公園の活用) ・野球場 (5～11月) 利用日数 148日 利用者数 6,985人 ・テニスコート (4～3月) 利用日数 183日 利用者数 7,553人	○各種大会が招致され積極的な利用が図られている。 ●更なる利用促進に努め、生涯スポーツ事業の活性化を図る必要がある。
社会体育施設の整備	・体育施設整備 山村広場夜間照明修繕 3,507千円 運動公園非常放送設備修繕 102千円	
社会体育施設の効率的な活用	・村体育館 (4月～3月) 利用日数 317日 利用者数 18,632人 ・山村広場 (4月～11月) 利用日数 317日 利用者数 5,152人 ・村民プール (6/9～9/9) 利用日数 77日 利用者数 2,672人	

【 参 考 】

第 2 4 回野田村民体育大会結果（H23）

順位	地区名	総得点	種 目 別 得 点					
			テニポン	ソフトバレーボール	野 球	壮年ソフトボール	グラウンドゴルフ	運動会
3	新 山	4 6	1 1	1 3		1 4	8	
4	城 内 上	4 5	8	2 1	中	1 6	0	中
1	城 内 中	5 8	2 0	1 6		1 0	1 2	
6	城 内 下	4 1	1 5	8	止	8	1 0	止
8	明内横合	3 5	4	1 4		0	1 7	
2	泉沢中平	4 9	6	1 0		1 2	2 1	
5	米田南浜	4 2	1 7	4		6	1 5	
7	玉 川	3 9	1 3	6		2 0	0	
			12/14.16	1/25～2/15	中止	10/9	11/13	中止

第 2 5 回野田村民体育大会順位結果（H24）

全体 順位 (参考)	計	8 地区名	種 目 別 順 位					
			テニポン	ソフトバレーボール	壮年ソフトボール	運動会	野 球	パークゴルフ
3	20	新 山	6	5	3	1	1	4
2	17	城 内 上	7	2	1	5	2	失格
4	22	城 内 中	5	1	7	6	3	棄権
5	23	城 内 下	1	7	4	6	5	棄権
8	36	明内横合	8	8	6	8	5	1
7	27	泉沢中平	3	6	8	4	4	2
6	24	米田南浜	4	4	5	3	5	3
1	14	玉 川	2	3	2	2	5	棄権